

平成29年の交通事故統計

交 通 安 全 は

家 庭 か ら



旭川市交通安全運動推進委員会

はじめに

市民の皆様や、交通安全指導員をはじめ交通事故防止に関わる関係機関・団体の皆様には、平素から交通事故防止活動に深い御理解と、御尽力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年中における旭川市の交通事故発生状況であります

発生件数	683件（前年比 - 80件）
死者数	5名（前年比 - 2名）
傷者数	817名（前年比 - 110名）

で、前年比で発生、死者、傷者数の全てにおいて減少させることができました。

特に、死者数は、旭川市の交通事故統計史上最少の5名（平成23年、26年と同数）まで減少させることができたことは大きな成果であり、これはひとえに、交通安全指導員や関係機関・団体、地域・職域など市民の皆様による地道な交通安全活動の積み重ねが実を結んだものと考えております。

しかしながら、近年は死者数における高齢者の占率が依然として高い傾向にあり、昨年も死者5名中3名が65歳以上の高齢者で、さらに進展する高齢社会における高齢者事故防止対策の構築が急務であるといわれております。

また、旭川市内の交通事故発生実態をみますと、例年同様死傷事故の約6割が交差点及びその付近において発生しており、その中で自転車・歩行者被害事故においては被害者側にも、飛び出しや斜め横断等のルール無視、マナー違反が多くみられます。

このような現状から、昨年同様交差点安全対策の強化が交通事故抑止を図る上において極めて重要であります。

当交通安全運動推進委員会といたしましては、関係各位とより一層連携を強化し、交差点における自転車・歩行者の保護誘導活動や交通安全指導、「パトライト作戦」など「見せる警戒活動」の強化を図ると共に、交通安全教室などの機会を捉え交通事故の撲滅に向け、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、啓蒙・啓発活動を推進して参りたいと考えております。

本資料は、北海道警察旭川方面本部及び旭川中央警察署・旭川東警察署や上川総合振興局の御協力をいただき、関係資料を基に平成29年中に旭川市内で発生した交通事故の状況を分析しまとめたものです。交通事故防止活動の推進に際し、参考にしていただければ幸いと存じます。

平成30年3月

旭川市交通安全運動推進委員会
会長 西川将人

目次

I 交通事故の概要【P 3】

- 1 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況【P 3】
 - (1) 旭川市
 - (2) 全道
 - (3) 全国
- 2 旭川市における交通事故発生状況【P 4～5】
 - (1) 月別
 - (2) 曜日別
 - (3) 時間帯別
 - (4) 路線別

II 交通事故の分析【P 6】

- 1 類型別交通事故発生状況【P 6】
- 2 道路形状別交通事故発生状況【P 7】
- 3 信号機有無別交通事故発生状況【P 7】
- 4 シートベルト・ヘルメット着用状況【P 8】
- 5 年齢層別・状態別死傷者数【P 8～10】
 - (1) 全年齢層
 - (2) こどもの状況
 - (3) 高齢者の状況
 - (4) 若年者の状況
- 6 第一当事者の交通事故発生状況【P 11～13】
 - (1) 状態別
 - (2) 事故原因別
 - (3) 年齢層別
 - (4) 通行目的別
 - (5) 事故車種の免許経験年数別
- 7 歩行者の交通事故発生状況【P 14～15】
 - (1) 年齢層別発生状況
 - (2) 歩行者の過失状況
- 8 自転車の交通事故発生状況【P 15～16】
 - (1) 年齢層別発生状況
 - (2) 自転車の過失状況
- 9 市内における交通死亡事故の状況【P 17～18】
 - (1) 月別
 - (2) 年齢層別
 - (3) 路線別
 - (4) 類型別
 - (5) 道路形状別
 - (6) 曜日別
 - (7) 時間帯別
 - (8) 違反別
 - (9) 地区別
 - (10) 平成29年交通死亡事故発生状況一覧表【P 19】

III 過去10年間の状況【P20～23】

- 1 月別交通事故発生状況【P20】
- 2 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況【P22】
- 3 都道府県別交通事故死者数のワースト順位【P22】

IV 旭川市の交通事故発生件数・死者数・傷者数一覧【P 23】

V 交通死亡事故ゼロ達成日数【P 24】

注 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や、四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もあります。

I 交通事故の概要

1 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況

(1) 旭川市

(▼減少)

	平成29年	平成28年	増減	増減率(%)
発生件数	683	763	▼80	▼10.5
死者数	5	7	▼2	▼28.6
傷者数	817	927	▼110	▼11.9

- ・発生件数 1日あたり 1.87件 1時間あたり 0.08件
- ・死者数 1日あたり 0.01人 1時間あたり 0.0006人
- ・傷者数 1日あたり 2.24人 1時間あたり 0.09人
- ・1件あたり死傷者数 1.20人
- *傷者数817人中 軽傷763人 重傷54人
- *死者数5人の内、高齢者は3人(60.0% 男性3人・女性0人)

*警察署別内訳

	旭川中央警察署		旭川東警察署		高速道路	
	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年
発生件数	332	390	349	372	2	1
死者数	1	2	4	5		
傷者数	387	476	428	449	2	2

(2) 全道

	平成29年	平成28年	増減	増減率(%)
発生件数	10,815	11,329	▼514	▼4.5
死者数	148	158	▼10	▼6.3
傷者数	12,673	13,489	▼816	▼6.0

- ・発生件数 1日あたり 29.63件 1時間あたり 1.23件
- ・死者数 1日あたり 0.41人 1時間あたり 0.02人
- ・傷者数 1日あたり 34.72人 1時間あたり 1.45人
- ・1件あたり死傷者数 1.19人

(3) 全国

	平成29年	平成28年	増減	増減率(%)
発生件数	472,165	499,201	▼27,036	▼5.4
死者数	3,694	3,904	▼210	▼5.4
傷者数	580,847	618,853	▼38,006	▼6.1

- ・発生件数 1日あたり 1,293.60件 1時間あたり 53.90件
- ・死者数 1日あたり 10.12人 1時間あたり 0.42人
- ・傷者数 1日あたり 1,591.36人 1時間あたり 66.31人
- ・1件あたり死傷者数 1.24人

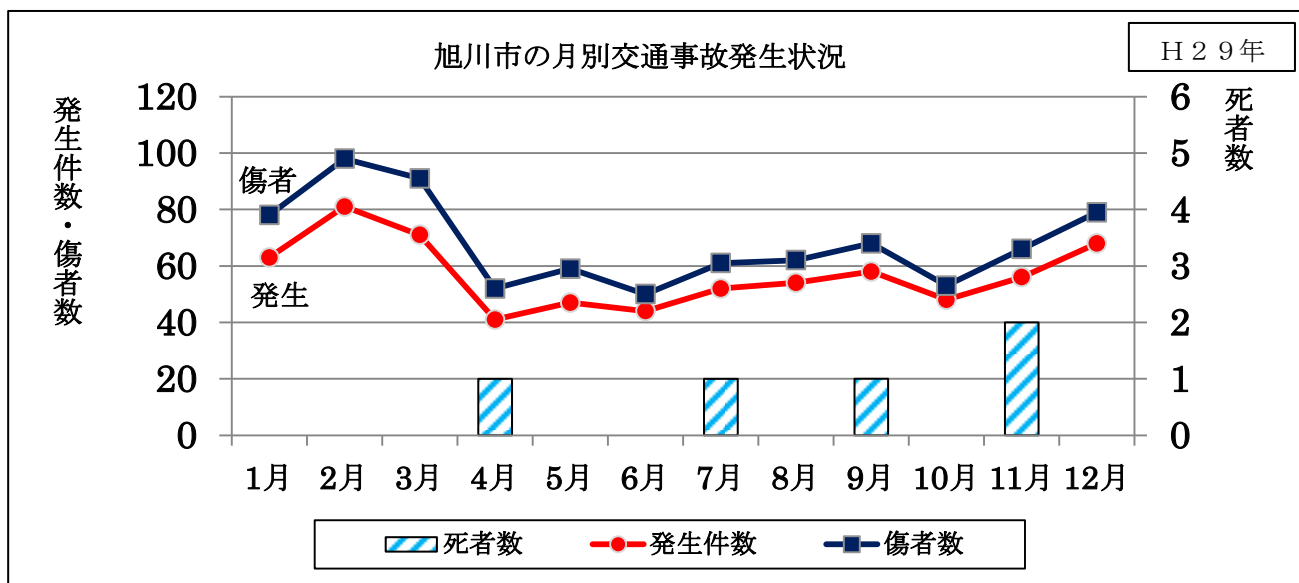
(全国数値は警察庁交通局交通企画課資料に基づいています)

2 旭川市における交通事故発生状況

(1) 月別交通事故発生状況

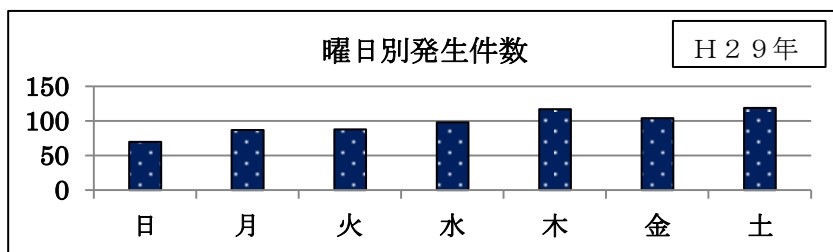
	旭川中央署			旭川東署			高速道路			合 計		
	発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数
1月	33		42	30		36				63		78
2月	44		54	35		42	2		2	81		98
3月	37		44	34		47				71		91
4月	16		16	25	1	36				41	1	52
5月	22		25	25		34				47		59
6月	21		25	23		25				44		50
7月	25		28	27	1	33				52	1	61
8月	23		25	31		27				54		62
9月	31		38	27	1	30				58	1	68
10月	24		28	24		25				48		53
11月	27	1	30	29	1	36				56	2	66
12月	29		32	39		47				68		79
計	332	1	387	349	4	418	2		2	683	5	817

* 秋季から交通環境（特に路面状況）が悪化する冬期間にかけて多発している。



(2) 曜日別交通事故発生状況

	日	月	火	水	木	金	土	計
発生件数	70	87	88	98	117	104	119	683
死者数		2	1			1		5
傷者数	90	97	98	115	132	121	164	817

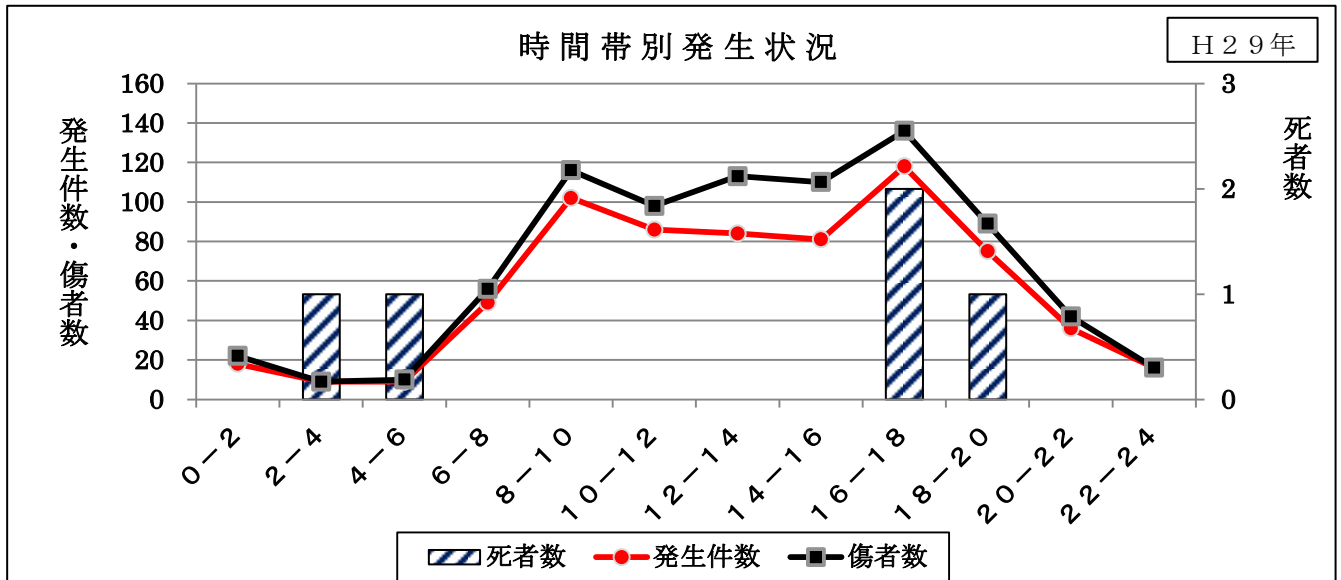


(3) 時間帯別交通事故発生状況

	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
発生件数	18	9	9	49	102	86	84	81	118	75	36	16	683
死者数		1	1						2	1			5
傷者数	22	9	10	56	116	98	113	110	136	89	42	16	817

* 通勤・通学時間帯の8～10時と、夕暮れ時の16～18時の時間帯に多発している。

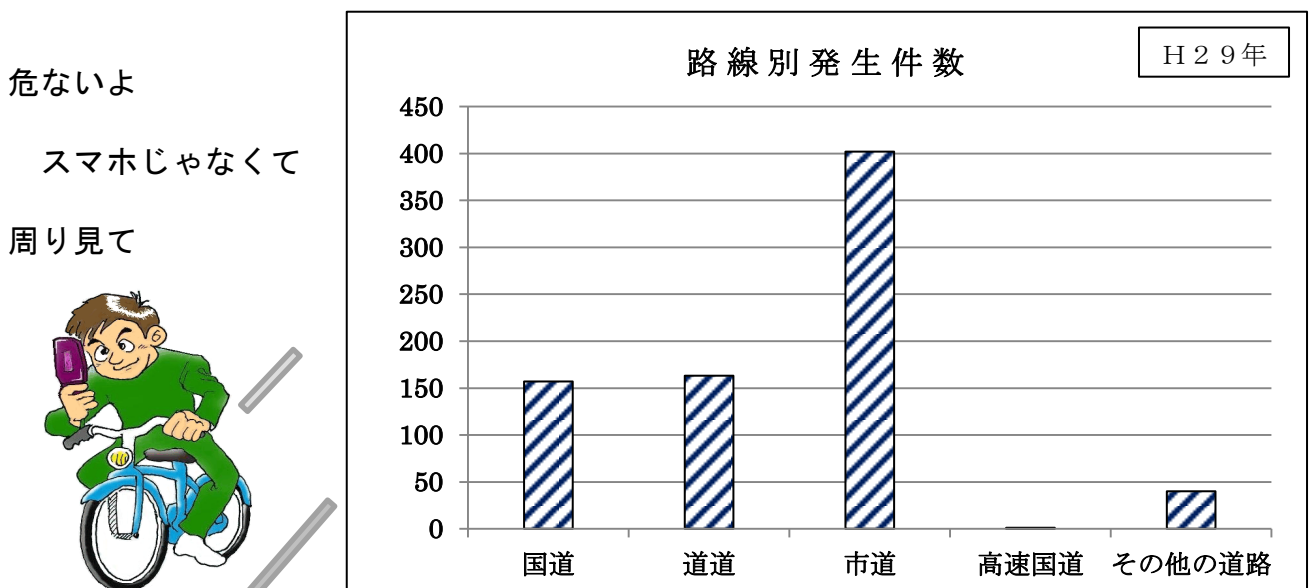
* 死亡事故については、夕暮れ時間から夜間にかけての発生が多い。



(4) 路線別交通事故発生状況

	国道	道道	市道	高速	指定自専道	他自専道	その他道路	合計
発生件数	118	155	377	2			31	683
死者数	1	3	1					5
傷者数	134	198	449	2			34	817

* 発生の約半数（全体の55.2%）が市道で、死者は5人中3人（60%）が道道である。



危ないよ

スマホじゃなくて

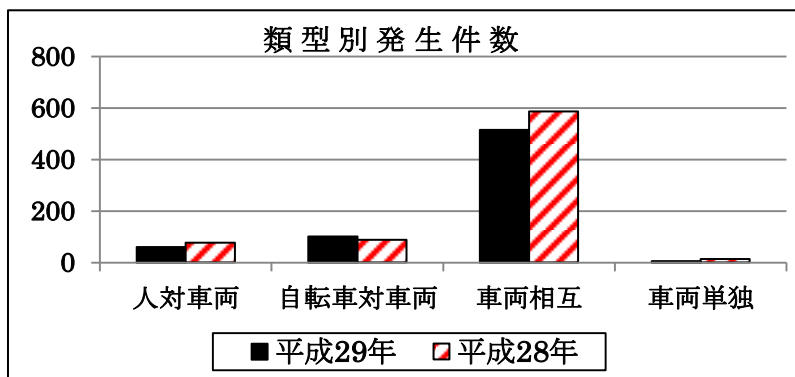
周り見て



II 交通事故の分析

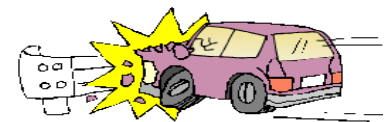
1 類型別交通事故発生状況

		平成29年			平成28年			
		発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数	
人対車両	対面通行中				2		2	
	背面通行中				6	1	5	
	横断中	横断歩道	20		21	20		21
		横断歩道付近						
		歩道橋付近						
		その他	15	1	14	19	2	18
	計	35	1	35	39	2	39	
	路上遊戯中							
	路上作業中	2		2	1		1	
	路上停止中	2		2	4		4	
	その他	21		21	24		26	
小計	60	1	60	76	3	77		
自転車対車両		101		102	88	1	89	
車両相互	正面衝突	28	1	36	24		32	
	追突	進行中	23		28	26		35
		その他	159		216	221		295
	出会い頭	189		237	182		225	
	追い越し追い抜き時	13		13	14		16	
	すれ違い時	4		4	7		8	
	左折時	6		9	6		7	
	右折	右折直進	32	1	37	41		49
		その他	7		9	12		14
	その他	55	1	61	53	1	65	
小計	516	3	650	586	1	746		
車両単独	工作物衝突	電柱	1		1	1	1	
		標識						
		防護柵等	1	1				
		その他	3		3	5	1	5
	駐車車両衝突	1		1	3		5	
	その他				4		4	
小計	6	1	5	13	2	15		
踏切								
合計		683	5	817	763	7	927	



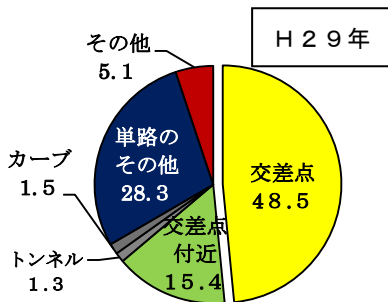
発生件数の増減率

人対車両 ▼ 21.1%
 自転車対車両 14.8%
 車両相互 ▼ 11.9%
 車両単独 ▼ 53.8%



2 道路形状別交通事故発生状況

		発生件数		構成比%		死者数		構成比%		傷者数		構成比%		
		29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	
市街地	交差点	交差点	318	351	46.6	46.0	2	3	40.0	42.9	379	406	46.4	43.8
		交差点付近	100	145	14.6	19.0		1		14.3	127	190	15.5	20.5
		計	418	496	61.2	65.0	2	4	40.0	57.1	506	596	61.9	64.3
	単路	トンネル	3	3	0.4	0.4					3	6	0.4	0.6
		カーブ	6	5	0.9	0.7					6	5	0.7	0.5
		その他	176	173	25.8	22.7		1		14.3	216	220	26.4	23.7
	その他	32	41	4.7	5.4					35	44	4.3	4.7	
小計	635	718	93.0	94.1	2	5	40.0	71.4	766	871	93.8	94.0		
非市街地	交差点	交差点	13	12	1.9	1.6					15	14	1.8	1.5
		交差点付近	5	6	0.7	0.8					5	6	0.6	0.6
		計	18	18	2.6	2.4					20	20	2.4	2.2
	単路	トンネル	6	4	0.9	0.5					6	8	0.7	0.9
		カーブ	4	3	0.6	0.4					4	4	0.5	0.4
		その他	17	18	2.5	2.4	3	2	60.0	28.6	18	21	2.2	2.3
	その他	3	2	0.4	0.3					3	3	0.4	0.3	
小計	48	45	7.0	5.9	3	2	60.0	28.6	51	56	6.2	6.0		
合計	683	763	100.0	100.0	5	7	100.0	100.0	817	927	100.0	100.0		



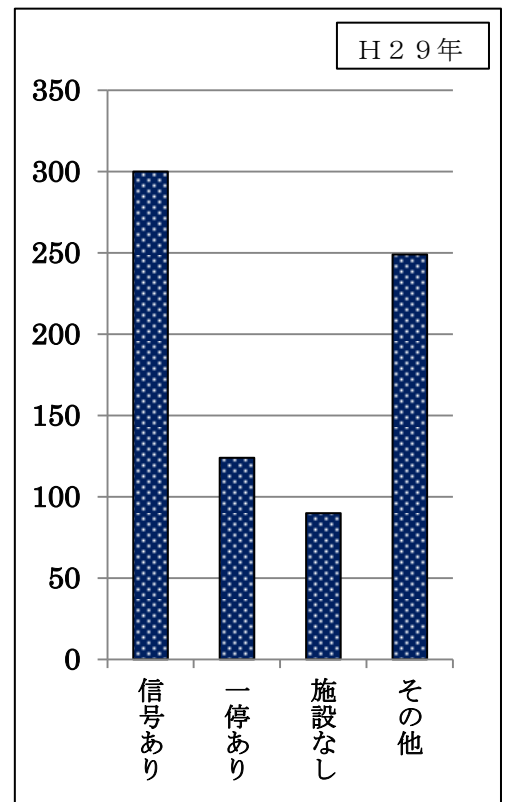
* 市街地・非市街地ともに交差点及びその付近での発生が多く、市街地では全体の約7割を占めている。



手を挙げて
車にアピール
「渡ります！」

3 信号機有無別発生状況

		発生件数		死者数		傷者数		
		29年	28年	29年	28年	29年	28年	
市街地	交差点	信号あり	162	177	1	2	193	207
		一停あり	111	114			134	131
		施設なし	45	60	1	1	52	68
	交差点付近	信号あり	85	113		1	110	150
		一停あり	1	3			1	3
		施設なし	14	29			16	37
	その他	217	222		1	260	275	
小計	635	718	2	5	766	871		
非市街地	交差点	信号あり	1	5			1	6
		一停あり	8	6			10	7
		施設なし	4	1			4	1
	交差点付近	信号あり	5	5			5	5
		一停あり		1				1
		施設なし						
その他	30	27	3	2	31	36		
小計	48	45		2	51	56		
合計	683	763	5	7	817	927		



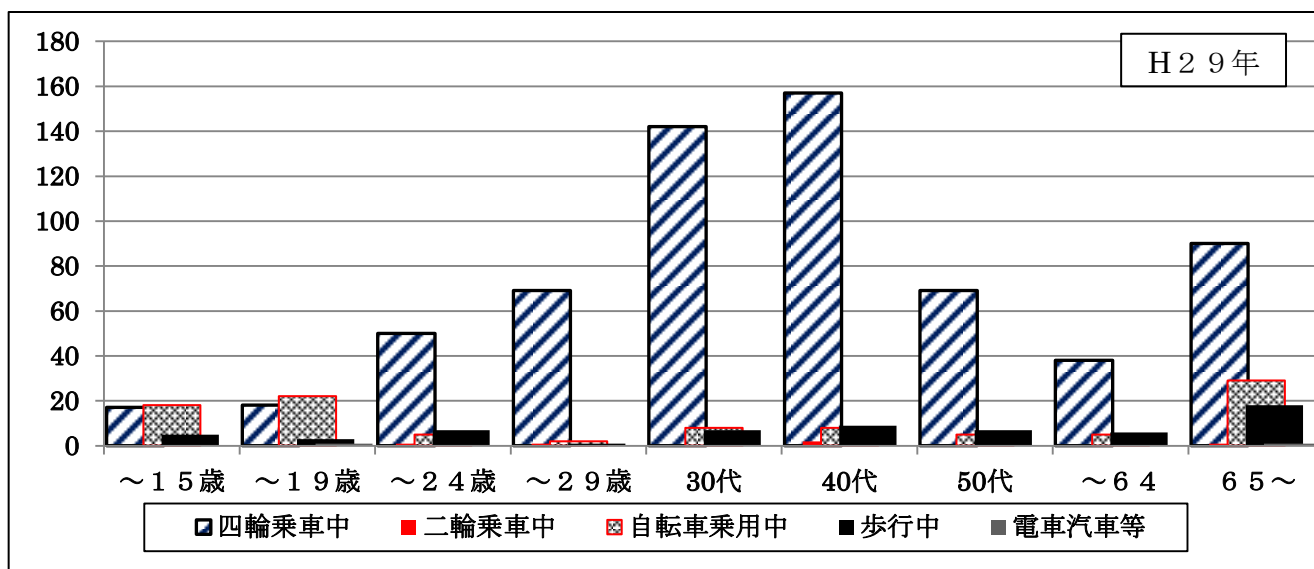
4 シートベルト・ヘルメット着用状況

		死者数		重傷者数		軽傷者数			
		29年	28年	29年	28年	29年	28年		
シートベルト	着用	2点3点式		2	3	20	27	583	649
	着用	チャイルドシート						6	9
		6歳未満						6	8
	非着用	適用除外者						1	
		その他		1		3	3	33	57
	着用不明		1						
合計		4	3	23	30	623	715		
ヘルメット	着用	離脱							
	着用	離脱なし				3	5	10	6
		離脱不明							
		非着用			1	10	12	84	74
	着用不明								
合計			1	13	17	94	80		

5 年齢層別状態別死傷者数

(1) 全年齢層の状況

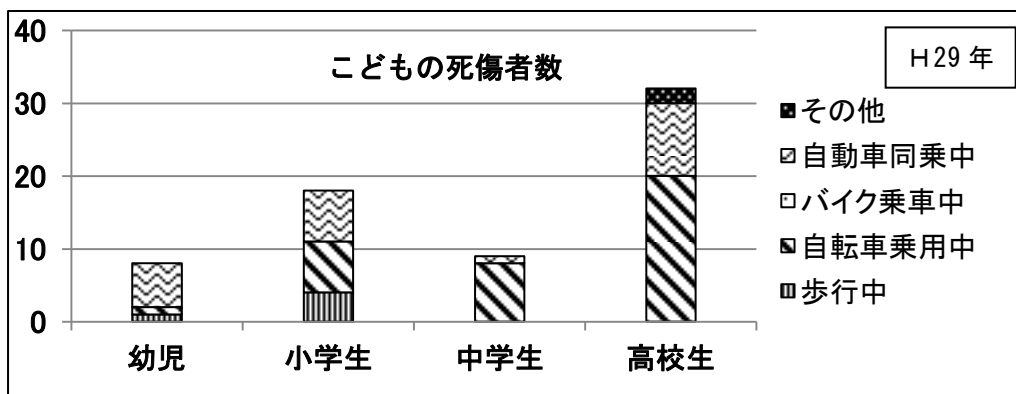
	平成 29 年						平成 28 年					
	四輪乗車中	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車自動車等	計	四輪乗車中	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車自動車等	計
～15	17		18	5		40	21		19	6	3	49
～19	18		22	3	1	44	18	2	11	1	1	33
～24	50	1	5	7		63	68		6	5		79
～29	69	1	2	1		73	82	2	2	2		88
30代	142		8	7		157	163		7	9	1	180
40代	157	2	8	9		176	143	3	7	5	2	160
50代	69		5	7		81	104		10	15		129
～64	38		5	6		49	56		5	8		69
65～	90	1	29	18	1	139	91	1	23	32		147
合計	650	5	102	63	2	822	746	8	90	83	7	934



(2) こどもの状況

		幼 児		小学生		中学生		高校生		計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
平成 29 年	歩行中		1		4						5
	自転車乗用中		1		7		8		20		36
	バイク乗車中										
	自動車同乗中		6		7		1		11		25
	その他								1		1
	計		8		18		9		32		67
平成 28 年	歩行中		2		2		2		1		7
	自転車乗用中		1		10		8		9		28
	バイク乗車中										
	自動車同乗中		10		8		3		4		25
	その他				1		2		1		4
	計		13		21		15		15		64

* 傷者の5割強(53.7%)が自転車乗用中である。



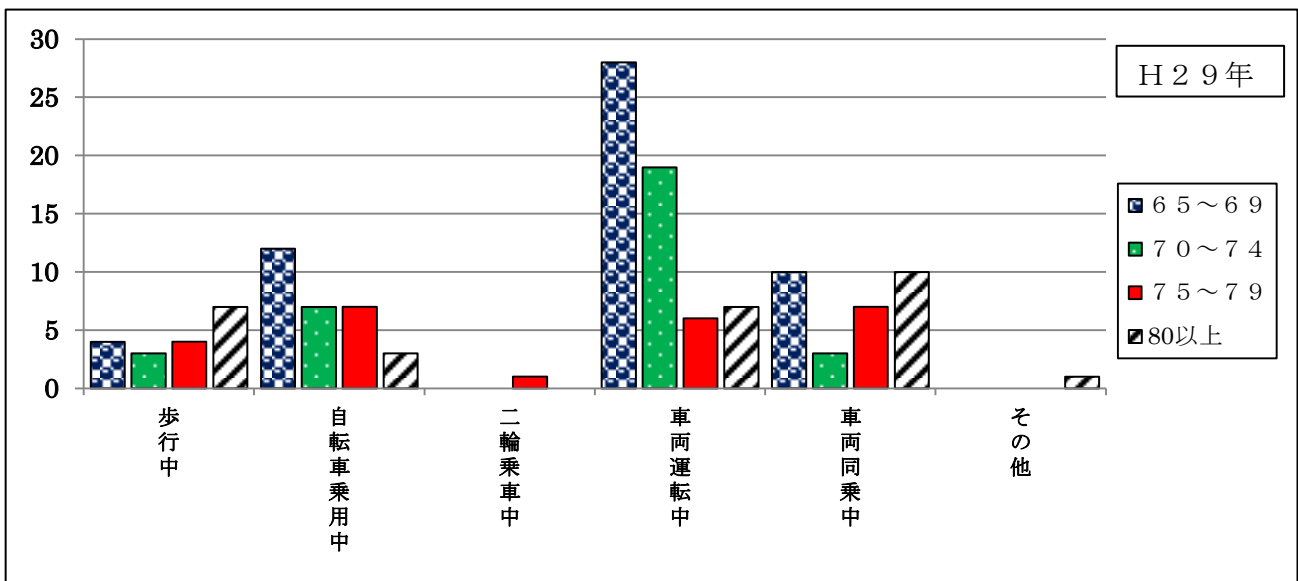
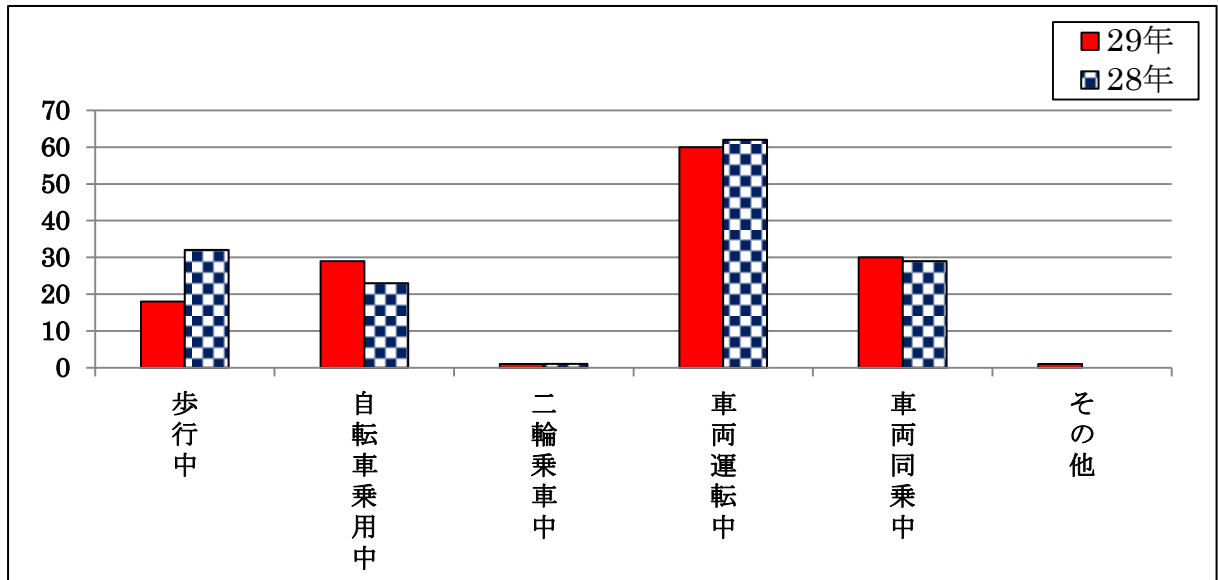
自転車は
車といっしょ
左側



(3) 高齢者の状況

- * 交通事故死者数5名中、3名(60.0%)が高齢者である。
- * 歩行中の死傷者は減少したが、自転車乗用中の傷者が微増した。

		65~69歳		70~74歳		75~79歳		80歳以上		計		死傷者 構成率(%)
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	
平成 29 年	歩行中		4		3		4		1		6	12.9
	自転車乗用中		12		7		7				3	20.9
	原付・2輪乗車中						1					0.7
	原付・2輪同乗中											
	車両運転中	1	27	1	18		6			2	58	43.2
	車両同乗中		10		3		7				10	21.6
	その他										1	0.7
	計	1	53	1	31		25	1	27	3	136	100.0
平成 28 年	歩行中		9	2	2		8	1	10	3	29	21.8
	自転車乗用中		10		4		5		4		23	15.6
	原付・2輪乗車中						1				1	0.7
	原付・2輪同乗中											
	車両運転中		31		18		10		3		62	42.2
	車両同乗中		17		2		8		2		29	19.7
	その他											
	計		67	2	26		32	1	19	3	144	100.0



(4) 若年者の状況 (16歳～24歳)

	平成29年		平成28年	
	死者数	傷者数	死者数	傷者数
乗用車運転中		51		50
乗用車同乗中		15		29
貨物車運転中		2		4
貨物車同乗中				3
自動二輪車運転中		1		2
自動二輪車同乗中				
原付車運転中				
原付車同乗中				
自転車乗用中		27		17
歩行中		10		6
その他		1		1
計		107		112



- * 若年者の死傷者数は年々減少傾向にあり、本年も前年比で僅かに減少した。
- * 死者は、前年同様で皆無であった。

(26年 119名
27年 86名
28年 112名
29年 107名)

6 第一当事者の交通事故発生状況

(1) 状態別

	平成29年		平成28年	
	発生件数	構成率%	発生件数	構成率%
自家用自動車	620	90.8	682	89.4
運送事業用自動車	44	6.4	49	6.4
二輪車			1	0.1
自転車・歩行者	7	1.0	7	0.9
特殊車	1	0.1	3	0.4
その他(不明)	11	1.6	21	2.8
計	683	100.0	763	100.0

* 昨年と同じく、自家用自動車による事故が大半を占めている。

一杯で

消える未来と

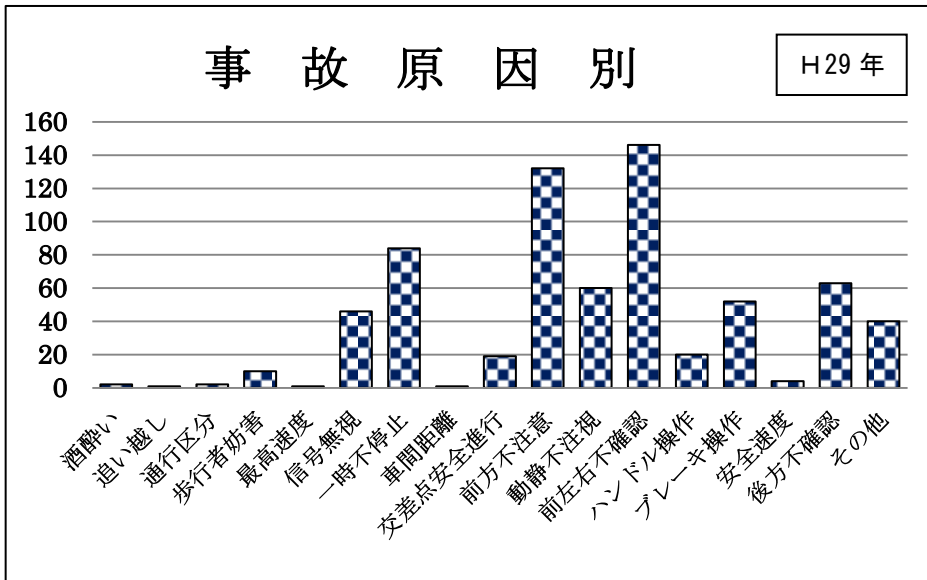
消せぬ罪



(2) 事故原因別

	発生件数		構成比%		死者数		構成比%		傷者数		構成比%		
	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	
酒酔い運転	2	2	0.3	0.3					2	2	0.2	0.2	
追越し運転	1	1	0.1	0.1		1		14.3	1	1	0.1	0.1	
通行区分違反	2	3	0.3	0.4					2	3	0.2	0.3	
歩行者妨害	10	20	1.5	2.6		1		14.3	11	20	1.3	2.2	
最高速度違反	1	2	0.1	0.3	1	2	20.0	28.6		1		0.1	
過労運転		1		0.1						1		0.1	
信号無視	46	55	6.7	7.2					56	69	6.9	7.4	
一時不停止	84	69	12.3	9.0					96	80	11.8	8.6	
車間距離	1	5	0.1	0.7					1	7	0.1	0.8	
踏切													
交差点安全通行	19	41	2.8	5.4					21	50	2.6	5.4	
交差点徐行	4	1	0.6	0.1					5	1	0.6	0.1	
右折	2		0.3						2		0.2		
左折	1	2	0.1	0.3					1	3	0.1	0.3	
整備不良		3		0.4						3		0.3	
安全運転義務違反	前方不注意	132	132	19.3	17.3	1	3	20.0	42.9	169	174	20.7	18.8
	動静不注視	60	79	8.8	10.4					80	106	9.8	11.4
	前左右不確認	146	138	21.4	18.1					170	158	20.8	17.0
	ハンドル操作	20	19	2.9	2.5	1		20.0		25	27	3.1	2.9
	ブレーキ操作	52	78	7.6	10.2					65	97	8.0	10.5
	安全速度	4	4	0.6	0.5					5	4	0.6	0.4
	後方不確認	63	56	9.2	7.3					71	62	8.7	6.7
	その他	5	13	0.7	1.7	1		20.0		4	14	0.5	1.5
小計	482	519	70.6	68.0	3	3	60.0	42.9	589	642	72.1	69.3	
その他の違反	17	18	2.5	2.4	1		20.0		19	22	2.3	2.4	
不明	11	21	1.6	2.8					11	22	1.3	2.4	
歩行者の違反													
合計	683	763	100.0	100.0	5	7	100.0	100.0	817	927	100.0	100.0	
酒気帯 (内数)	0.25未満	2	1	0.3	0.1					2	1	0.2	0.1
	0.25以上	7	7	1.0	0.9	1	1	20.0	14.3	7	8	0.9	0.9
無免許 (内数)	2	5	0.3	0.7					2	9	0.2	1.0	

* 「うっかり、ぼんやり型」の安全運転義務違反が全体の約70%で最も多く、次いで一時不停止による事故が多い。



ぶつかるよ

ながら運転

じこのも

(3) 年齢層別

	発生件数		構成比 %		死者数		構成比 %		傷者数		構成比 %		
	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	
ドライバー	15歳以下												
	16～19	19	26	2.8	3.4	1		20.0		19	28	2.3	3.0
	20～24	68	80	10.0	10.5					84	99	10.3	10.7
	25～29	45	61	6.6	8.0					55	85	6.7	9.2
	30歳代	105	101	15.4	13.2		2		28.6	126	125	15.4	13.5
	40歳代	116	118	17.0	15.5	2	1	40.0	14.3	141	137	17.3	14.8
	50歳代	90	93	13.2	12.2	1	2	20.0	28.6	105	110	12.9	11.9
	60～64	46	60	6.7	7.9		2		28.6	56	73	6.9	7.9
	65～69	55	76	8.1	10.0	1		20.0		65	93	8.0	10.0
	70～74	59	49	8.6	6.4					69	59	8.4	6.4
	75～79	39	36	5.7	4.7					48	42	5.9	4.5
	80歳以上	23	35	3.4	4.6					31	47	3.8	5.1
小計	665	735	97.4	96.3	5	7	100.0	100.0	799	898	97.8	96.9	
その他	歩行者												
	自転車	7	7	1.0	0.9					7	7	0.9	0.8
	その他不明	11	21	1.6	2.8					11	22	1.3	2.4
合計	683	763	100.0	100.0	5	7	100.0	100.0	817	927	100.0	100.0	

* 発生件数では、30代と70代の年齢層において増加したが、その他の年齢層では減少した。

* 死者数については、昨年発生がなかった高齢運転者と、若年運転者が加害者となる事故が各1件ずつ発生した。

ハイビーム

上手に使って

事故防止

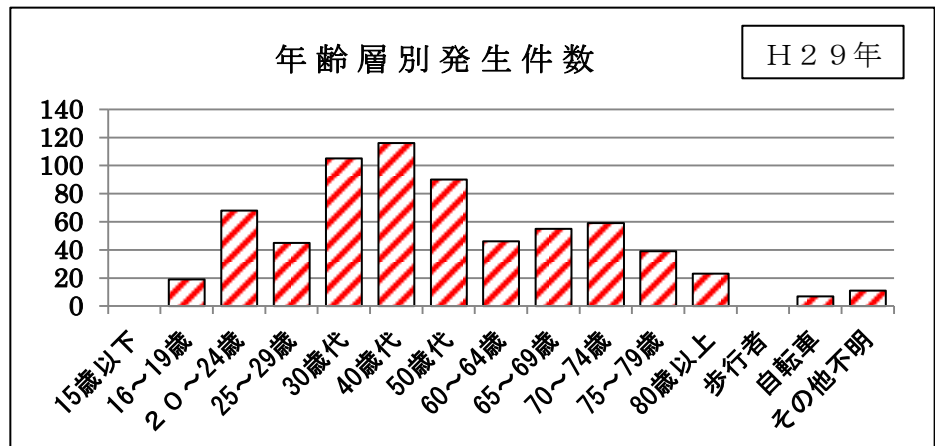
ロービーム (照射距離約40m)

ハイビーム (照射距離約100m)

こ～んなに差があるんだ!

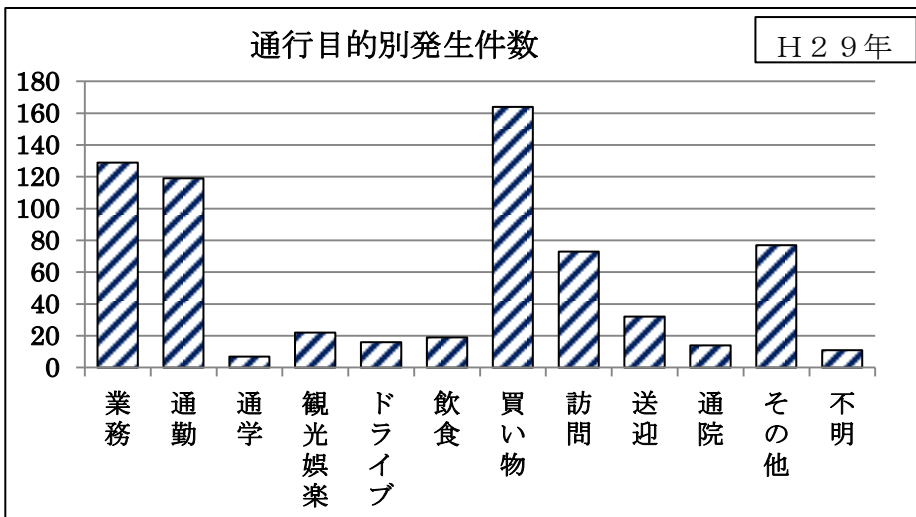


反射材
自分をアピール
防ぐ事故



(4) 通行目的別

	業務	通勤	通学	観光 娯楽	ドライ ブ	飲食	買物	訪問	送迎	通院	その他	不明	合計
発生	129	119	7	22	16	19	164	73	32	14	77	11	683
死者数		2						1			2		5
傷者数	154	139	8	29	18	20	190	97	42	14	95	11	817



手をあげて
大きくみせよう
ほくのこと

(5) 事故車種の免許経過年数別

		発生件数		構成比 %		死者数		傷者数	
		29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
有効免許あり	1年未満	25	29	3.7	3.8	1		30	34
	1年以上2年未満	23	25	3.4	3.3			26	30
	2年以上3年未満	19	23	2.8	3.0			23	28
	3年以上4年未満	16	16	2.3	2.1			18	25
	4年以上5年未満	21	27	3.1	3.5	1		30	31
	5年以上10年未満	42	68	6.1	8.9			53	90
	10年以上	517	542	75.7	71.0	3	7	617	651
小計		663	730	97.1	95.7	5	7	797	889
無免許等		2	5	0.3	0.7			2	9
調査不能									
ドライバー以外	歩行者								
	自転車	7	7	1.0	0.9			7	7
	その他	11	21	1.6	2.3			11	22
計		683	763	100.0	100.0	5	7	817	927

* 10年以上の運転経験者による事故が約76%を占めている。

7 歩行者の交通事故発生状況

(1) 年齢層別発生状況

	死者数		傷者数		計		構成比 %		
	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	
20歳未満			8	7	8	7	12.7	8.4	
(内数)	幼児		1	2	1	2	1.6	2.4	
	小学生		4	2	4	2	6.3	2.4	
	中学生				2	2		2.4	
	高校生				1	1		1.2	
20歳代			8	7	8	7	12.7	8.4	
30歳代			7	9	7	9	11.1	10.8	
40歳代			9	5	9	5	14.3	6.0	
50歳代			7	15	7	15	11.1	18.1	
60～64歳			6	8	6	8	9.5	9.6	
高齢者	65～69歳		4	9	4	9	6.3	10.8	
	70～74歳		2	3	3	4	4.8	4.8	
	75～79歳			4	8	4	8	6.3	9.6
	80歳以上	1	1	6	10	7	11	11.1	13.3
小計	1	3	17	29	18	32	28.6	38.6	
計	1	3	62	80	63	83	100.0	100.0	



とうげこう

おしゃべりはみだし

あぶないよ

* 歩行者事故の死者は、前年比2人(66.7%)、傷者は18人(22.5%)減少した。

* 高齢者が占める死傷者の割合は28.6%となり、2年連続で減少した。

(H25年 31.0% H26年 35.6% H27年 42.9% H28年 38.6% H29年 28.6%)

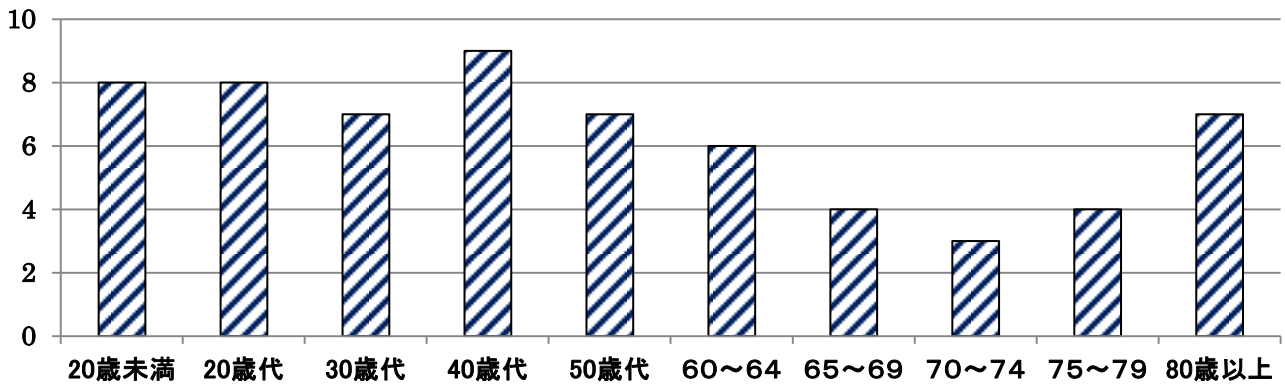
(2) 歩行者の過失状況

	中学生以下		高齢者		その他		計		構成比 %	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
信号無視				1		1		2		2.4
左側通行			1				1		1.6	
車道通行				2		1		3		3.6
行列等の通行違反										
横断歩道外の横断			2	3	2	2	4	5	6.3	6.0
斜め横断			2	2			2	2	3.2	2.4
駐停車直前直後の横断										
走行車直前直後の横断										
禁止場所の横断										
幼児の一人歩き										
酩酊徘徊ねそべり										
路上遊戯中										
路上作業中										
飛び出し	2	1			3		5	1	7.9	1.2
その他の違反						2		2		2.4
過失なし	3	5	13	24	35	39	51	68	81.0	81.9
計	5	6	18	32	40	45	63	83	100.0	100.0

* 全体の約2割に歩行者側にも横断歩道外横断、飛び出し、斜め横断などの過失がある。

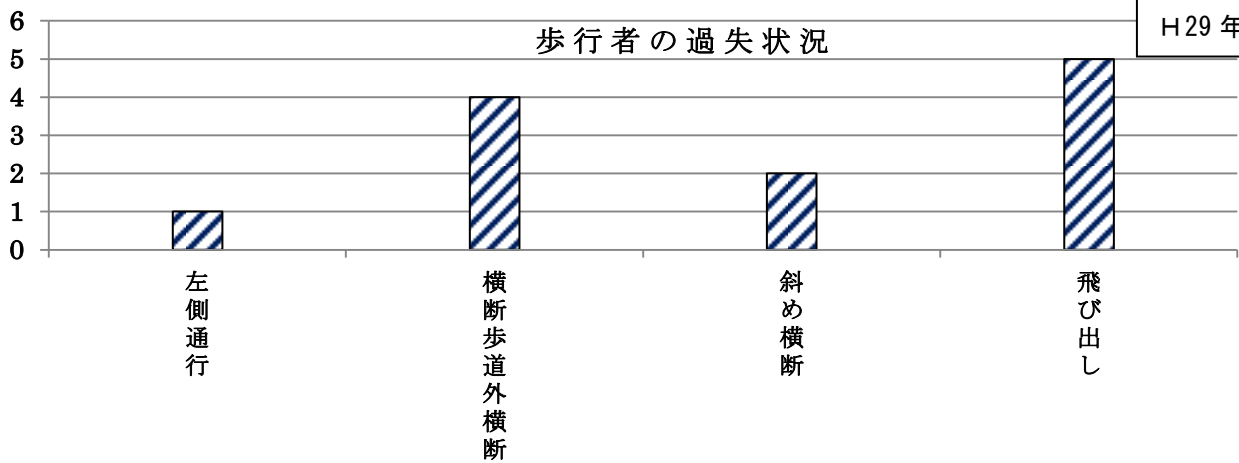
歩行者の死傷者数

H29年



歩行者の過失状況

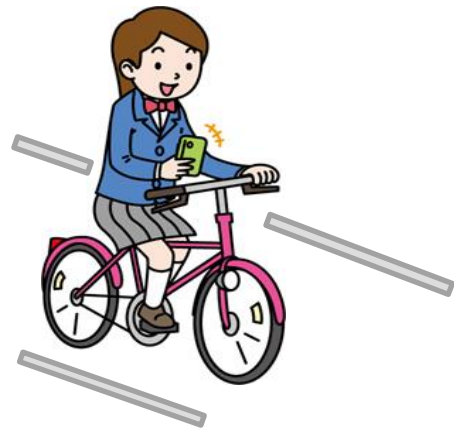
H29年



8 自転車の交通事故発生状況

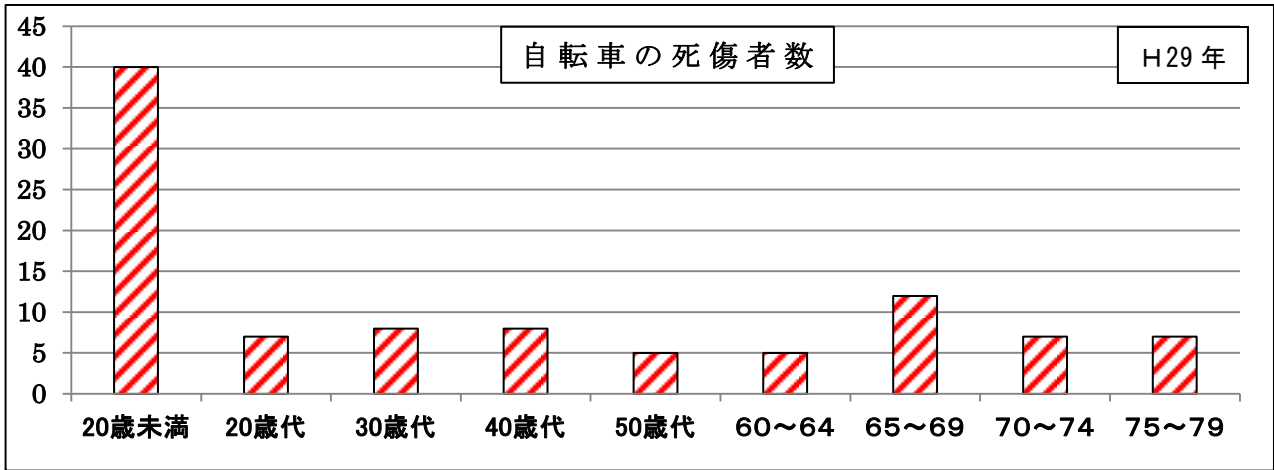
(1) 年齢層別発生状況

	死者数		傷者数		計		構成比 %		
	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	
20歳未満			40	30	40	30	39.2	33.3	
(内数)	幼児		1	1	1	1	1.0	1.1	
	小学生		7	10	7	10	6.9	11.1	
	中学生			8	8	8	8	7.8	8.9
	高校生			20	9	20	9	19.6	10.0
20歳代			7	8	7	8	6.9	8.9	
30歳代		1	8	6	8	7	7.8	7.8	
40歳代			8	7	8	7	7.8	7.8	
50歳代			5	10	5	10	4.9	11.1	
60~64			5	5	5	5	4.9	5.6	
高齢者	65~69		12	10	12	10	11.8	11.1	
	70~74			7	4	7	4	6.9	4.4
	75~79			7	5	7	5	6.9	5.6
	80歳以上			3	4	3	4	2.9	4.4
	小計			29	23	29	23	28.4	25.6
計		1	102	89	102	90	100.0	100.0	



いのちより
スマホの方が
大事なの？

* 死者はなかったが、傷者は前年比で高校生が11人(122.2%)、高齢者が6人(26.1%)増加した。



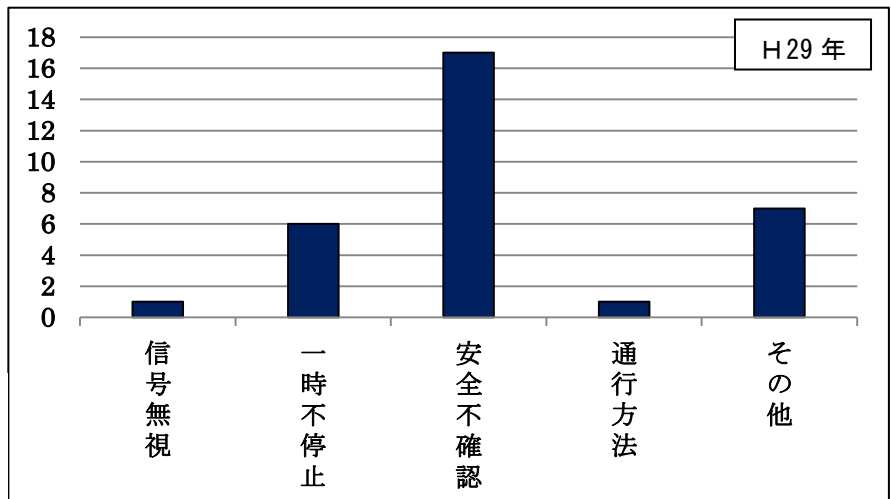
(2) 自転車の過失状況

	中学生以下		高齢者		その他		計		構成比 %	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
信号無視					1		1		1.0	
通行禁止違反										
通行区分違反						3		3	3.3	
車両・通行帯違反										
横断・転回等違反										
通行妨害違反										
右折方法違反										
左折方法違反										
交差点安全進行義務違反		3		2		5		10	11.1	
一時不停止	2	3	1	1	3	1	6	5	5.9	5.6
灯火違反										
安全不確認	2		8		7	6	17	6	16.7	6.7
乗車不適當										
通行方法違反			1	1			1	1	1.0	1.1
その他			4		3	3	7	3	6.9	3.3
違反なし	12	12	15	19	43	31	70	62	68.6	68.9
計	16	18	29	23	57	49	102	90	100.0	100.0

* 「過失あり」が32件で31.4%を占め、その半数以上が安全不確認である。



手軽でも
重いよ自転車
その責任



9 市内における交通死亡事故の状況

(1) 月別

(▼減少)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成29年				1			1		1		2		5
平成28年		1		1	1		1		1		1	1	7
増減		▼1			▼1						1	▼1	▼2

(2) 年齢層別

	幼児	小	中	高	15以下	16-19	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	計
平成29年									2		1	2	5
平成28年								4				3	7
増減								▼4	2		1	▼1	▼2

(3) 路線別

	国道12号	国道39号	国道40号	国道237号	他の国道	道道	市道	その他	計
平成29年			1			3	1		5
平成28年	1			1		1	4		7
増減	▼1		1	▼1		2	▼3		▼2

(4) 類型別

	歩行者 対 車両	自転車 対 車両	車両相互				小計	車両 単 独	計
			正面衝突	追突	出会頭	その他			
平成29年	1		1			2	3	1	5
平成28年	3	1				1	1	2	7
増減	▼2	▼1	1			1	2	▼1	▼2

(5) 道路形状別

	交差点	交差点付近	直線道路	トンネル	カーブ屈折	その他	計
平成29年	2		3				5
平成28年	3	1	3				7
増減	▼1	▼1					▼2

(6) 曜日別

	日	月	火	水	木	金	土	計
平成29年		2	1		1	1		5
平成28年	2		1	2		1	1	7
増減	▼2	2		▼2	1		▼1	▼2



良いお手本 になれる自分が カッコ

(7) 時間帯別

	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
平成29年		1	1						2	1			5
平成28年				1	1				1	2	2		7
増減		1	1	▼1	▼1				1	▼1	▼2		▼2

(8) 違反別

違反項目	死者数		
	29年	28年	
酒酔い			
追越し		1	
通行区分			
歩行者妨害		1	
最高速度	1	2	
過労運転			
信号無視			
一時不停止			
車間距離			
踏切			
交差点安全通行			
交差点徐行			
右折			
左折			
整備不良			
安全運転義務違反	前方不注意	1	3
	動静不注意		
	前左右不確認		
	ハンドル操作	1	
	ブレーキ操作		
	安全速度		
	後方不注意		
	その他	1	
小計	3	3	
その他の違反	1		
不明			
自転車の通行方法			
歩行者の違反			
合計	5	7	



ヘッドホーン はずして聴こえる 街の音

(9) 地区別

・旭川中央署区域			・旭川東署区域		
地区名	死者数		地区名	死者数	
	29年	28年		29年	28年
西			新旭川		2
中央			朝日		
大成			啓明		
近文東			旭神	1	
近文西			東光		
川端			東光南		
旭星			豊岡		
旭星西			愛宕		
北星			東豊中央	1	
春光西			新豊岡		
春光中央			東部東光		
春光東			千代田		
春光台			旭正		
鷹の巣福祉村			東旭川中央	1	
末広中央			日の出・倉沼		
末広			豊田		
末広東			桜岡		
東鷹栖中央		1	米飯・瑞穂		
東鷹栖東	1		神楽本町		
東鷹栖西			神楽宮前		
東鷹栖北			高野		1
江丹別			神楽岡		
嵐山			神楽岡東		
神居中央		1	緑が丘		1
神居東			西御料地		
台場			緑が丘東		
神居雨紛			西神楽瑞穂		
西神居			西神楽中央	1	1
忠和			西神楽聖和		
市民委員会構成外			西神楽千代ヶ岡		
計	1	2	永山第一		
			永山第二		
			永山第三		
			永山南		
			永山南西		
合計	5	7	計	4	5

(10) 平成29年 交通死亡事故発生状況一覧表

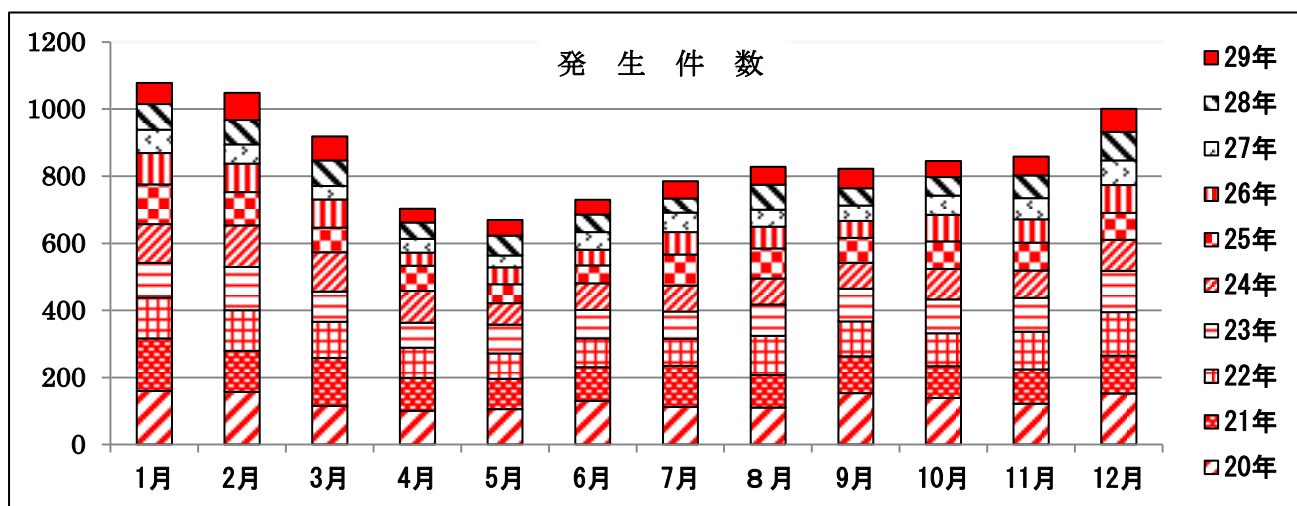
番号	日 時	場 所	路線	事 故 態 様	死 亡
事 故 状 況					
1	4月10日(月) 5:00ころ	東旭川町日の出 日の出倉沼地区市民委員会	市道	軽乗用:普通乗用(正面衝突) 当事者 旭川市 A(女性40) 東川町 B(男性49)	女性 A (40歳)
10日午前5時ころ,旭川市東旭川町日の出の市道で,Aさん(40)の軽乗用車とBさん(49)の普通乗用車が正面衝突した。 Aさんは胸を強く打ち,搬送先の病院で死亡が確認された。					
2	7月7日(金) 16:05ころ	旭神町 旭神地区市民委員会	道道	軽乗用:大型路線バス(その他) 当事者 旭川市 A(男性66) 東神楽町 B(男性57)	男性 A (66歳)
7日午後4時5分ころ,旭川市旭神町の道道で,同市のAさん(66)の軽乗用自動車と,旭川電気軌道の路線バス(Bさん(57)運転,乗客15人)が衝突した。 Aさんは,全身を強く打ち,約6時間後に搬送先の病院で死亡した。バスの運転手と乗客に怪我はなかった。 現場は片側1車線の直線道路で旭川東署が原因を調べている。					
3	9月19日(火) 19:05ころ	東光2条5丁目 東豊中央地区市民委員会	道道	普通乗用;普通乗用(右直) 当事者 旭川市 A(男性43) 美瑛町 B(男性70)	男性 B (70歳)
19日午後7時5分ころ,旭川市東光2の5道道交差点で,Aさん(43)のRV車と,Bさん(70)のワゴン車が衝突した。 Bさんは胸などを強く打ち,搬送先の病院で死亡が確認された。Aさんは首に軽いけが。 旭川東署によると,現場は信号機のある交差点。同署はRV車が右折した際,対向車線を直進していたワゴン車と衝突したとみて調べている。					
4	11月6日(月) 17:30ころ	西神楽北1条3丁目 西神楽中央地区市民委員会	道道	普通乗用;歩行者(横断中) 当事者 旭川市 A(男性19) 旭川市 B(男性89)	男性 B (89歳)
6日午後5時30分ころ,旭川市西神楽北1の3の道道を横断していたAさん(89)が乗用車にはねられ,全身を強く打ってまもなく死亡した。乗用車はそのまま走り去った。 旭川東署がひき逃げとみて捜査していたところ,まもなく前部が破損した乗用車が現場に現れた。同署は事件に関係しているともみて,運転していた10代のA少年から事情を聞いている。 少年は「動物をひいたと思った」と供述しているという。 その後,旭川東署は,少年を逮捕し事故の原因などを捜査している。					
5	11月23日(木) (発生時間不明) 通報~2時31分	東鷹栖1線 東鷹栖東地区市民委員会	国道	軽乗用車単独(路外立木に衝突) 当事者 比布町 A(42)	男性 A (42歳)
23日午前2時31分ころ,旭川市東鷹栖1線の国道で,軽乗用車が燃えていると車で通りかかった男性から110番通報があり,車内運転席から性別不明の1人の遺体が見つかった。 旭川中央署は身元の確認を急ぐとともに,死因などを調べている。 同署によると,現場は見通しの良い片側1車線の直線で,道路脇の立木に衝突した状態で炎上していた。					

Ⅲ 過去10年間の状況

1 月別交通事故発生状況

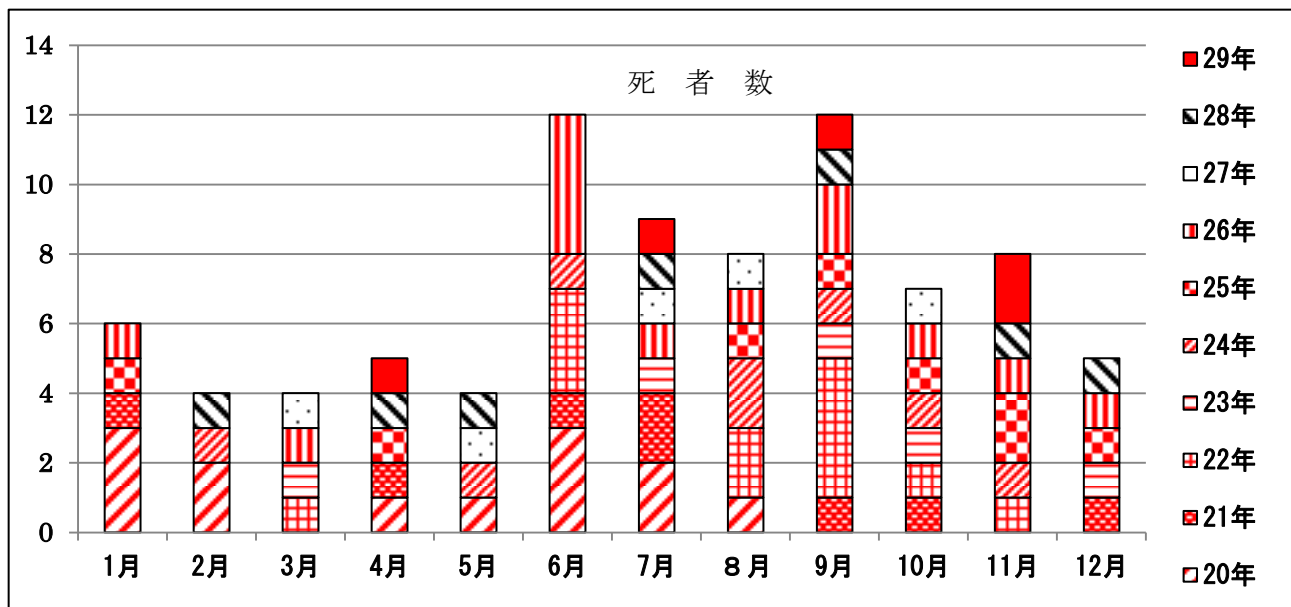
(1) 発生件数

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
1月	160	156	122	103	116	118	94	69	77	63
2月	157	122	121	129	124	99	85	57	73	81
3月	115	143	108	89	118	73	84	40	77	71
4月	100	99	89	75	94	76	39	41	49	41
5月	105	91	75	86	64	56	51	35	59	47
6月	130	100	86	85	79	54	46	53	52	44
7月	112	122	81	81	78	92	67	58	42	52
8月	110	97	117	93	78	89	65	51	74	54
9月	153	110	104	97	77	75	50	46	52	58
10月	139	94	98	102	90	82	79	58	55	48
11月	121	103	112	101	81	83	70	63	68	56
12月	152	113	129	123	93	80	83	74	85	68
計	1,554	1,350	1,242	1,164	1,092	977	813	645	763	683



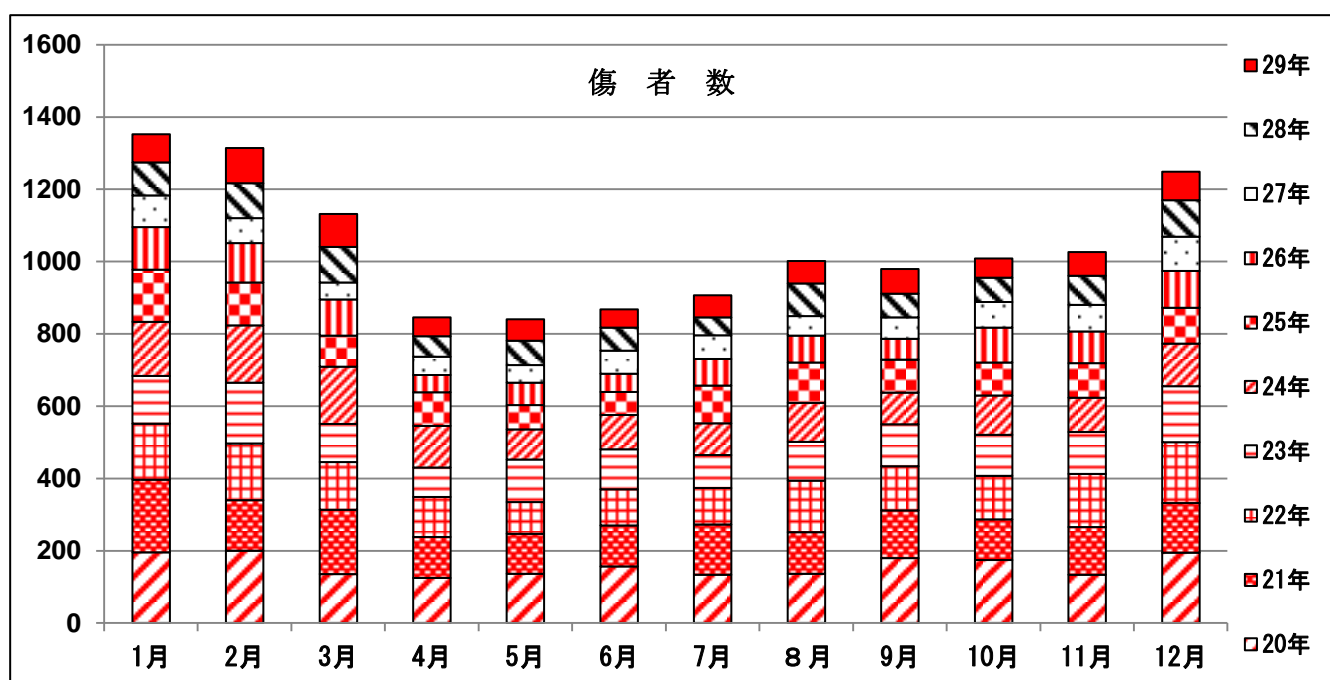
(2) 死者数

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
1月	3	1				1	1			
2月	2				1				1	
3月			1	1			1	1		
4月	1	1				1			1	1
5月	1				1			1	1	
6月	3	1	3		1		4			
7月	2	2		1			1	1	1	1
8月	1		2		2	1	1	1		
9月		1	4	1	1	1	2		1	1
10月		1	1	1	1	1	1	1		
11月			1		1	2	1		1	2
12月		1		1		1	1		1	
計	13	8	12	5	8	8	13	5	7	5



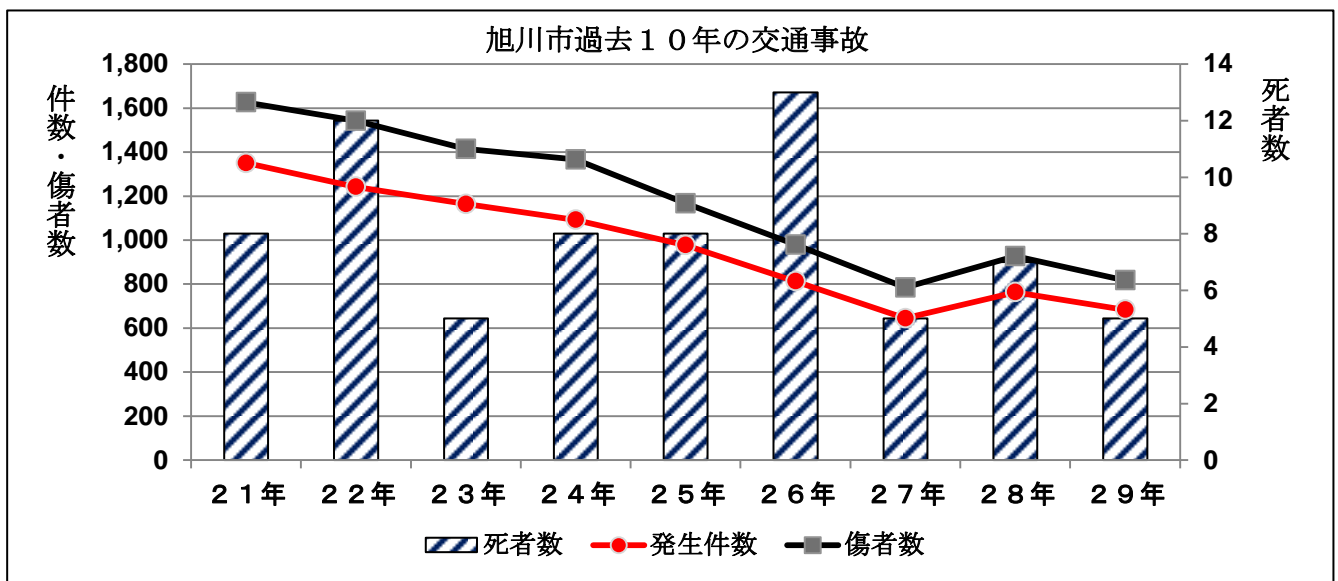
(3) 傷者数

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
1月	195	201	155	132	150	144	118	88	91	78
2月	200	140	156	169	158	119	109	69	96	98
3月	135	178	132	105	159	86	100	47	98	91
4月	124	114	110	82	115	93	48	50	57	52
5月	136	111	87	118	83	68	62	48	68	59
6月	156	114	100	110	95	64	50	64	64	50
7月	133	139	101	91	88	105	73	66	49	61
8月	136	115	143	107	108	111	75	54	90	62
9月	179	132	122	116	88	91	58	59	66	68
10月	174	112	121	113	109	91	97	71	67	53
11月	133	132	147	116	95	96	87	74	80	66
12月	194	138	168	155	118	99	102	94	101	79
計	1,895	1,626	1,542	1,414	1,366	1,167	979	784	927	817



2 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況

	発生件数			死者数			傷者数		
	旭川市	全道	全国	旭川市	全道	全国	旭川市	全道	全国
20年	1,554	21,091	766,382	13	228	5,197	1,895	25,800	945,703
21年	1,350	19,503	737,628	8	218	4,968	1,626	23,855	911,215
22年	1,242	18,088	725,903	12	215	4,922	1,542	22,096	896,294
23年	1,164	16,395	692,056	5	190	4,663	1,414	19,705	854,610
24年	1,092	14,973	665,138	8	200	4,411	1,366	18,048	825,396
25年	977	13,722	629,021	8	184	4,373	1,167	16,247	781,494
26年	813	12,274	573,842	13	169	4,113	979	14,571	711,374
27年	645	11,123	536,899	5	177	4,117	784	13,117	666,023
28年	763	11,329	499,232	7	158	3,904	927	13,489	617,931
29年	683	10,815	472,165	5	148	3,694	817	12,673	580,847



3 都道府県別交通事故死者数のワースト順位

(▼減少)

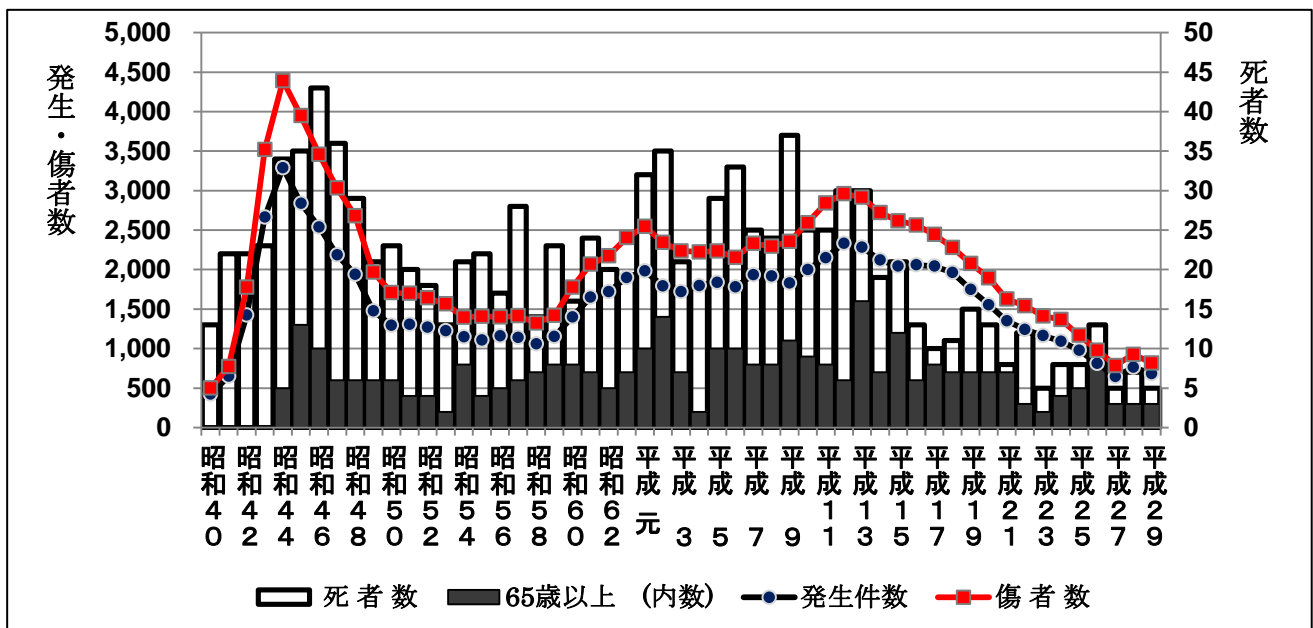
順位	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
1	愛知 318 ▼8	愛知 281 ▼37	愛知 256 ▼25	愛知 276 20	愛知 235 ▼41	愛知 219 ▼16	愛知 204 ▼15	愛知 213 9	愛知 212 ▼1	愛知 200 ▼12
2	埼玉 232 4	北海道 218 ▼10	北海道 215 ▼3	東京 215	千葉 202 ▼1	千葉 201 ▼1	神奈川 185 17	大阪 196 53	千葉 185 5	埼玉 177 26
3	北海道 228 ▼58	千葉 208 ▼17	東京 215 10	埼玉 207 9	北海道 200 10	兵庫 187 8	千葉 182 ▼19	千葉 180 ▼2	大阪 161 ▼35	東京 164 5
4	千葉 225 ▼43	埼玉 207 ▼25	千葉 210 2	千葉 203 ▼7	埼玉 200 ▼7	静岡 184 29	兵庫 182 ▼5	神奈川 178 ▼7	東京 159 ▼2	兵庫 161 9
5	東京 218 ▼51	東京 205 ▼13	茨城 205 6	兵庫 198 6	東京 183 ▼32	北海道 184 ▼16	埼玉 173 ▼7	北海道 177 8	北海道 158 ▼19	千葉 154 ▼31

北海道は、190人で7位 169人で7位 148人で8位

IV 旭川市の交通事故発生件数・死者数・傷者数一覧

年	発生件数	死者数		傷者数	年	発生件数	死者数		傷者数
		65歳以上 (内数)					65歳以上 (内数)		
昭和39	435	24		422	平成3	1,719	21	7	2,235
昭和40	422	13		499	平成4	1,798	18	2	2,224
昭和41	649	22		770	平成5	1,839	29	10	2,234
昭和42	1,425	22		1,778	平成6	1,779	33	10	2,154
昭和43	2,663	23		3,518	平成7	1,936	25	8	2,332
昭和44	3,289	34	5	4,391	平成8	1,920	24	8	2,294
昭和45	2,837	35	13	3,949	平成9	1,829	37	11	2,356
昭和46	2,539	43	10	3,459	平成10	2,000	25	9	2,593
昭和47	2,186	36	6	3,033	平成11	2,150	25	8	2,841
昭和48	1,940	29	6	2,680	平成12	2,333	30	6	2,961
昭和49	1,476	21	6	1,969	平成13	2,284	30	16	2,915
昭和50	1,296	23	6	1,707	平成14	2,123	19	7	2,726
昭和51	1,306	20	4	1,698	平成15	2,041	21	12	2,616
昭和52	1,272	18	4	1,643	平成16	2,060	13	6	2,564
昭和53	1,225	13	2	1,565	平成17	2,043	10	8	2,445
昭和54	1,150	21	8	1,396	平成18	1,962	11	7	2,279
昭和55	1,109	22	4	1,409	平成19	1,749	15	7	2,078
昭和56	1,161	17	5	1,398	平成20	1,554	13	7	1,895
昭和57	1,140	28	6	1,416	平成21	1,350	8	7	1,626
昭和58	1,061	14	7	1,323	平成22	1,242	12	3	1,542
昭和59	1,151	23	8	1,419	平成23	1,164	5	2	1,414
昭和60	1,400	16	8	1,777	平成24	1,092	8	4	1,366
昭和61	1,651	24	7	2,067	平成25	977	8	5	1,167
昭和62	1,720	20	5	2,176	平成26	813	13	8	979
昭和63	1,900	19	7	2,404	平成27	645	5	3	784
平成元年	1,983	32	10	2,545	平成28	763	7	3	927
平成2	1,795	35	14	2,344	平成29	683	5	3	817

※平成14年からは高速道路事故数も含む



V 交通死亡事故ゼロ達成日数（平成29年12月31日現在）

市民委員会名	達成日数	備考	市民委員会名	達成日数	備考
西	3,605		旭神	177	7/7
中央	1,036		東光	3,500	
大成	1,870		東光南	1,597	
近文東	2,262		豊岡	876	
近文西	3,764		新豊岡	3,790	
川端	7,507		愛宕	2,836	
北星	2,746		東豊中央	103	9/19
旭星	1,120		東部東光	2,017	
旭星西	9,498		千代田	4,188	4千日
春光西	3,672		旭正	1,203	
春光中央	4,984		東旭川中央	2,284	
春光東	1,550		日の出・倉沼	265	4/10
春光台	7,617		豊田	6,749	
鷹の巣福祉村	1,379		桜岡	4,791	
末広中央	1,294		米飯・瑞穂	14,918	
末広	1,292		神楽本町	1,129	
末広東	2,506		神楽宮前	6,508	
東鷹栖中央	606		高野	5,677	
東鷹栖東	38	11/23	神楽岡	679	
東鷹栖西	13,979		神楽岡東	5,071	5千日
東鷹栖北	17,892		緑が丘	6,693	
江丹別	4,287	4千日	西御料地	372	
嵐山	1,816		緑が丘東	3,536	
神居中央	623		西神楽瑞穂	5,512	
神居東	2,683		西神楽中央	55	11/6
台場	1,718		西神楽聖和	415	
神居雨紛	5,977		千代ヶ岡	2,618	
西神居	3,273	3千日	永山第一	1,914	
忠和	1,507		永山第二	1,228	
新旭川	459		永山第三	3,692	
朝日	5,132	5千日	永山南	4,968	
啓明	971		永山南西	1,487	

※備考欄の記述

- ・「〇千日」は、平成29年中に達成した3千日以上記録。
- ・「日付(△/□)」は死亡事故があった日。

旭川市の事故ゼロ日達成

最長記録 **156日**

昭和53年1月5日～6月9日



ほく安心 チャイルドシートに 抱かれてる

一口メモ

用語	説明
交通事故	<p>道路交通法に規定する「道路」で発生した「車輛等」（自動車、原動機付き自転車、自転車等の軽車両、トロリーバス、路面電車）の交通による死傷、物の損壊事故をいいます。</p> <p>しかし、この統計書では、物の損壊事故のみで死傷事故とならなかった事故については含まれていません。通常私たちが目にする交通事故統計は、この統計書のように、交通による死傷事故のみを扱っているものがほとんどです。</p>
死傷者	<p>「死傷者」とは、道路交通法で規定される道路上で、車輛等および列車の交通によって発生した事故で死傷した人をいいます。普通は「死者」「重傷者」「軽傷者」に区別されます。</p> <p>この統計書では、例外的に表示する以外は「死者」と、重傷者と軽傷者を合わせた「傷者」で表示しています。</p> <p>「死者」とは、交通事故が発生してから24時間以内に亡くなった人のみをいいます。「30日以内の死者」を計上している統計書もありますが、この統計書では24時間以内に亡くなった人のみを表しています。</p>
第一当事者	<p>交通事故に関わった全ての当事者の過失を調べ、基本的には、それらの過失が重い順に当事者順位が定められます。</p> <p>第一当事者は、犯した過失が他の当事者よりも相対的に重いと判断された当事者です。当事者の過失が同程度と判断された時は、人身損傷の軽い順に当事者の順位が定められ、人身損傷が最も軽い当事者が第一当事者となります。</p> <p>車輛の単独事故では、常にドライバーが第一当事者になります。また、歩行者に明らかで重大な過失がある場合には、歩行者が第一当事者となります。</p>
軽車両 (自転車も車の仲間です)	<p>交通事故統計では、車両等(列車を含む)の運転者が当事者であるときは、運転中の「車両等」の種類をもって当事者とします。その種別は、「乗用車」「貨物車」「二輪車」「歩行者」などの11に区分されています。その1つが「軽車両」です。</p> <p>この「軽車両」も、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自転車 ②駆動補助機付自転車 ③その他軽車両～リヤカー、荷車、牛車・馬車、馬・牛、犬ぞりなどの3種に区分されています。

【平成30年期別運動】

年間スローガン

ストップ・ザ・交通事故 ～ めざせ 安全で安心な北海道

運動名	実施期間	期別運動の視点	セーフティコール
春の全国交通安全運動	4/6(金)～4/15(日)	○新入学(新学期)を迎える子供や活動期に入る自転車利用者の事故防止	4 / 6 (金)
夏の交通安全運動	7/11(水)～7/20(金)	○観光やレジャー等に伴う事故防止や二輪車の事故防止と飲酒運転の根絶	7 / 11 (水)
秋の全国交通安全運動	9/21(金)～9/30(日)	○夕暮れ時と夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止	9 / 21 (金)
冬の交通安全運動	11/11(日)～11/20(火)	○凍結路面でのスリップ事故防止	11 / 9 (金)



平成29年の交通事故統計

交通安全は家庭から

平成30年3月発行

旭川市交通安全運動推進委員会

会長 西川 将人

☎070-8525

旭川市6条通10丁目 旭川市第三庁舎1階

旭川市防災安全部交通防犯課内

☎(0166)25-6215